

# 再生可能エネルギー具現化プロジェクト

活動地域  福島県

復興支援助成

3年目

知識の提供・普及啓発

エコ教室の参加者 **23組**

ふくしまモデル提案 **1冊**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **50%**



バイオガス発電の設備見学 (磐石バイオマス)

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

子ども相手のエコ教室は、当初、集客に非常に苦労した。また、省エネ活動も手を挙げてくれるところが少なく、非常に苦労した。

### ■ 工夫した点

地域の同じような活動をしている団体と組むことで、エコ教室は3年目によりやく目標を達成できた。省エネ活動は商工会等と連携することで、情報発信を増やした。

## 課題

市民発電所を立ち上げた団体の多くは、太陽光発電のステップを模索している。市民の手が届く、太陽光発電に代わる再生可能エネルギーの仕組みづくりが急がれている。

## 目標

再生可能エネルギーモデル(ふくしまモデル)をつくり、事業者に取り組んでもらうことで、2040年に再生可能エネルギー100%実現という福島県の目標達成に寄与する。

## 活動内容と成果

生成可能エネルギー実現は、①担い手づくり ②省エネ ③市民の手に届く再生可能エネルギーモデルの3本がセットなので、以下のような活動を行った。

- ①小学生にエネルギーや熱について伝えるエコ教室
  - ②省エネ診断士の派遣
  - ③再生可能エネルギーの実現可能性調査とふくしまモデルの提案
- 成果としては、①は集客に苦労した年もあったが、3年目は多くの小学生親子に情報をお届けできた ②派遣成果は通産省から表彰された ③先進地の調査により、小規模農家が多い福島の実態にあった「ふくしまモデル」を提案した



エコ教室の様子

## 全助成期間の活動を振り返って

当初は、「(太陽光発電に代わる)再生可能エネルギー事業所をつくる！」という大きな目標を掲げたが、人的問題などから断念し、「ふくしまモデルの提案」という目標を再設定することになった。ただ、それからは県内のメーカーさんの協力を得て、牧場の状況によるシミュレーションを行い、「ふくしまモデル」を提案することができた。



商工会との協力で行った省エネセミナー

〒976-0022  
福島県相馬市尾浜字南ノ入241-3  
HP: <http://fcpower.org/>



## 今後の展望

今回はモデルの提案までしかできず、事業者への働きかけは今後の活動になる。酪農農家の中には、排出物の処理に課題を抱えている農家も多いので、今回得られた知見も含め、ご提案していき、当初の目標である「2040年に福島県内で再生可能エネルギー100パーセント」の実現に寄与したい。